ところざわ倶楽部

2021－4－20
野老澤の歴史をたのしむ会
記　福本 健一

活 動 報 告

第３回「野火止用水」散策

・・・・・清瀬駅から新座駅・・・・

■開催日時　　2021 年 4 月 15 日(木)　9:30～12:30
■参 加 者　　22 名(男性 11 名･女性 11 名)

■はじめに

「野火止用水」散策は19年度の活動計画において３回で約20km の用水路を踏破しようと計画されました。第1回は一昨年10月に開催された玉川上水駅から久米川駅まで。第2回はコロナ禍で半年遅れでしたが、昨年11月に久米川駅から清瀬駅までの散策を楽しみました。そして　今回コロナ感染も気になる中でしたが、清瀬駅から新座駅までの最終回を開催。野火止用水の流れと北武蔵野の風景の中に歴史を感じながら当初の計画通りウオーキングでの全行程を踏破することが出来ました。

■コース概要

清瀬駅　集合
⇒ 野火止橋 ⇒ 西武線踏切 ⇒ 西堀･新堀コミセン ⇒ 御成橋交差点
⇒ 野火止用水碑 ・ 平林寺堀分岐 ⇒ 本多緑道 ⇒ 総合体育館
⇒ 隅屋敷橋(関越道) ⇒ 伊豆殿橋 ・ 野火止緑道 ⇒ 西分橋
⇒ 野火止公園交差点(国道254号) ⇒ JR 新座駅　解散

■散策記録

□清瀬駅南口　ロータリー(9:30着)

当日は朝から青空が広がる絶好の健康ウオーキング日和でした。出発前には「野火止用水をあるく」(新座市パンフ)の地図で今回のコース確認や参加者のコミュニケーションの促進のために一言自己紹介を実施。

そして　マスク着用等コロナ対策を確認して“密を避けながらそろり”の出発です。

□野火止橋(9:50着)

清瀬駅から小金井街道を渡り第２回の終着地の野火止橋から野火止用水の一直線の流れを左手に確認して平林寺方面へ進みます。西武線踏切を渡り用水の流れが右･左と暗渠を繰り返す遊歩道を会話楽しみながら足取り軽くスタートです。

□西堀・新堀コミセン(10:10着)

20 分程　進んだところの左手奥にある西堀・新堀コミセンでひと休み。

用水沿いには葉桜と新緑のもみじの並木が続き、民家の境界には黄色いモッコウバラや芝桜・つつじなどの花が点在、遠くには白のハナミズキと春を感じながら平林寺堀分水点を目指します。

□平林寺堀分水点・野火止用水の碑(10:45着)

先には野火止用水と遊歩道に併走する水道道路がＹ字になる交差点が見えてきます。交差点先端の左が野火止用水本流。右は平林寺へ流れる平林寺堀で、その分水点を歩道の上から見ることが出来ました。平林寺堀は1728年(享保 13 年)に分水されたと言われています。そして　右手奥には1944年(昭和19年)に野火止用水が埼玉県の史跡に指定された時の小さい石碑があります。ここから先は本流から別れて雑木林を抜け畑との境界を流れる細い平林寺堀を一列でしばらく進みます。また　途中で平林寺堀に別れを告げ本多緑道沿いの用水本流に戻ります。

□本多緑道(11:00着)

本多緑道に入ると正面に雑木林が広がり、桜の季節が過ぎて残念でしたが用水沿いには葉桜の桜並木が続いています。ここは野鳥観察のスポットでもあります。奥には菜の花が咲きほこる風景と用水を道ずれに木洩れ日がそそぐ中　新緑の森林浴を満喫しながら進むと休憩予定の市民総合体育館が見えてきます。

□隅屋敷橋(11:30着)

市民総合体育館で水分補給して出発です。関越道の上を用水本流が懸樋の水路橋で超えているのを左手に見ながら隅屋敷橋をわたると再び平林寺堀の水路の流れと出会います。 水路の築堤に沿った遊歩道を10分程進むと平林寺南側の陣屋通りにぶつかります。その先の雑木林は平林寺の境内です。

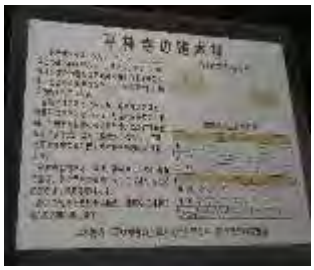
□伊豆殿橋・野火止緑道(11:45着)

陣屋通を右へ行けば平林寺総門へ。今回は左へ塀沿いに歩くと関越道を超えた野火止用水本流にかかる伊豆殿橋が現れ石碑が建っています。ここを右折して野火止緑道に入ります。右手には用水の流れと平林寺裏手の境内林が広がり、左手には民家と畑が点在しているのどかな風景の中の散策です。この境内林は 1968 年(昭和 43 年)に国の天然記念物に指定されています。この辺りが野火止用水の名称になった“野火止”地区であり江戸時代の雰囲気を感じることが出来ました。

□西分橋(12:00着)

疲れが出てきたころです。野火止緑道の中程の西分橋で最後の休憩。

新座駅まで 1.6㎞の案内表示にホットした気分になりました。



□野火止公園交差点・新座駅（12：30着）

暫く野火止緑道を進み、山下橋を超えると右が野火止公園です。その先の国道254号を跨ぐ歩道橋を渡ったところが野火止用水公園でありその下に用水が流れています。

ここで本日の野火止用水の終着地を確認しました。いよいよ最後の行程で左に向かって西へ一直線に整備された遊歩道「ふる里小道」をのんびりと新座駅へと向かい駅前で無事散策を終わることが出来ました。お疲れ様でした。

■おわりに

コロナ禍の中での開催でしたが、天候にも恵まれ、春をいっぱいに感じられた健康ウオーキングでした。そして　3回シリーズの散策で知らなかった「野火止用水」への理解も深まったのではないでしょうか。今回　当初に計画した「野火止用水」散策の最大の歴史文化史跡の平林寺を参拝できなかったことは残念でした。平林寺は秋の紅葉が素晴らしいところです。本日のコースを秋11月に再度ウオーキングを兼ねて訪れて頂ければと思います。

また　野火止用水は国道254号横の野火止用水公園から志木市の新河岸川まで約5㎞続きますが、暗渠が多いとのことであり「野火止用水」散策は今回で終了とさせて頂きます。

尚　要望等があれば新河岸川までの散策を別途検討したいと思います。

皆様のご協力有難うございました。

付　録　（ご案内で紹介した豆知識の再掲載です。）

野火止用水の変遷＜新座市観光ボランティアガイド協会“野火止用水”パンフより）

＊1639 年（寛永16年）松平伊豆守信綱　川越藩主となる。 ＊1653年（承応2年）信綱野火止新田開発に着手　＊1655 年（承応４年）玉川上水完成の功績により、玉川上水の分水許可を得て野火止用水開削を始め、完成させる。 ＊1662 年（寛文2年）信綱 67歳で死去　＊1663年（寛文３年）信綱の長男輝綱（川越藩主）は父の遺志を継ぎ、平林寺を岩槻から野火止に移転させる。 ＊1944 年（昭和 19 年）野火止用水が埼玉県の史跡に指定される。 ＊1984 年（昭和 59 年）～1988 年（昭和 63 年）野火止用水清流対策事業が実施され、多摩川上流水再生センターからの高度処理水による流れが復活した。

以　上

担当　Aグループ　　黛　雅昭　　谷　恵子　　大舘　徹　　福本　健一